のり養殖通報第９報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議　　平成 25 年 2 月 22 日発行

[気象]今後も冬型継続

○ 2 月上・中旬の日照時間は 4.3 時間/日（平年 5.7 時間），降水量は 55 ㎜（平年 42 ㎜）で，平年よりやや曇雨天が多い（新富津気象盤）。気温は強い南風が吹いた一時期を除いて平年を下回る日が続いている（図 1）。

○ 気象予報によると，2 月後半は冬型の気圧配置が続き，3 月に入ると晴天で気温の高い日が増えると予報されている。

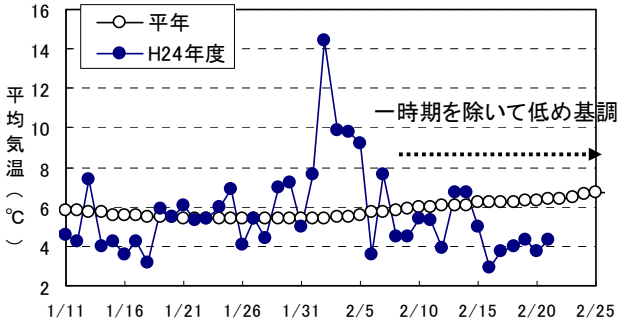

図1　日平均気温　平年との比較（千葉測候所）

[海況]内湾でややリンが減少。富津以南は栄養塩十分

○ 黒潮からの暖水が東京湾口へ波及し 20 日頃までは 15℃台の水温帯がのり漁場でも観測されていた。現在はのり漁場への直接的な影響は弱まり，新富津のり漁場における観測値では 11℃前後で推移している（図 2）。

○ 2 月 20，21 日に実施した東京湾の観測結果では，表層水温は内湾でほぼ 8～9℃，内房では 9～11℃前後。内湾ではスケレトネマ等の小型の珪藻類が増加し，透明度が低下，リンが減少してきた。富津以南は植物プランクトンが少なく栄養塩は十分な量が含まれている（表 1）。

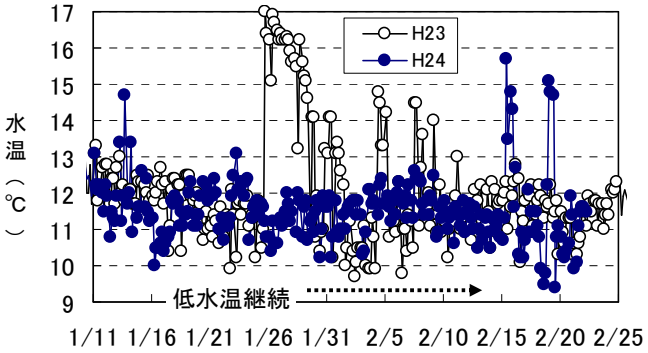

図2　昨年と今年の水温経過（新富津観測ブイ）

[今後の見込みと留意点] 降雨による栄養塩回復に期待

○ 内湾で植物プランクトンが増加。優占種はスケレトネマ等の小型の珪藻類で現時点では最も色落ち被害をもたらすユーカンピアは散見されるが量的には増えていない。今後も冬型の気圧配置で冷え込みが続くと予報されており，急激な栄養塩減少は回避できる見込み。

○ 27 日の降雨による栄養塩回復に期待し計画的な生産を継続してください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードできます。
次回は 3 月 5 日頃発行します。

表 1　水質観測結果（内湾 2/20，内房 2/21）

	水温	塩分	pH	透明度	窒素	リン
船橋	8.4	31.8	8.2	2.4	485	8
盤洲 B ブイ	9.6	32.1	8.2	2.6	402	4
盤洲 A ブイ	9.8	32.2	8.2	2.7	406	4
富津ベタ	9.1	31.8	8.1	3.2	405	16
2 海ほ下	11.8	33.5	8.1	8.6	261	15
下洲ベタ	10.6	33.4	8.1	7.0	290	14
大貫ベタ	9.4	33.2	8.1	3.0	246	14
湊ベタ	10.1	33.2	8.1	5.5	199	10